

飯山市廃棄物減量等推進審議会 答申 議事録（議事要旨）

- 1 日 時 平成30年1月11日(木) 午前11時00分～11時30分
- 2 場 所 飯山市役所3階 31号会議室
- 3 出席者 別紙名簿のとおり
- 4 資料等 別添資料等のとおり
- 5 次 第

- ・開会
- ・答申
- ・懇談

6 議事要旨

(1) 開会

(清水部長)

- ・ただ今から、飯山市廃棄物減量等推進審議会の答申を行います。
- ・なお、審議会にてお諮りしたところ、委員全員で市長に答申書をお渡ししたいとのことでしたので、このように設営させていただきました。
- ・早速ですが、答申に移らせていただきます。
- ・丸山会長より、答申書を市長へお渡しいただきます。

(2) 答申

(丸山会長)

- ・平成30年1月11日、飯山市長足立正則様。飯山市廃棄物減量等推進審議会会長、丸山とし子。
- ・飯山市の今後のごみ減量施策のあり方について、答申。
- ・平成29年6月1日付けで当審議会に諮問いただきました、飯山市の今後のごみ減量施策のあり方について、別紙のとおり答申します。
- ・答申の内容は、お時間の都合もございますので、概要のみ触れさせていただきます。
- ・前回の答申における「エコパーク寒川で処分するごみの重量を、平成23年度を基準として、平成28年度の実績で10%削減する」という目標は、0.1%の減という結果になり、残念ながら達成できませんでした。
- ・この結果を踏まえ、これまで5回の審議会を開催し、慎重審議を重ねた結果、今後の飯山市のごみ減量については、長野県の「チャレンジ800ごみ減量推進事業」を推奨し、ごみ減量に取り組むこととし、家庭系ごみについては一人一日あたり560グラム以下、平成27年度実績より13グラムの減量、事業系ごみについては一日あたり240グラム以下、平成27年度実績より14グラムの減量、家庭系と事業系あわせて平成27年度実績より27グラムの減量を目指し、全体で一日あたり800グラム以下となることを目標としました。

- ・答申の詳細についてはご一読いただきまして、今後のごみ減量に努めていただくよう、ここに求めます。

(清水部長)

- ・ありがとうございました。市長より一言いただければと思います。

(足立市長)

- ・ただ今、丸山会長より答申がありました。
- ・昨年6月1日に私より諮問させていただき、以降、5回の審議会にて慎重に審議いただき、ありがとうございました。
- ・答申の概要について丸山会長より説明があったわけですが、やはりごみ減量については、ある程度の目標設定をし、そこに向けて努力していくことが大切だと思います。
- ・答申に基づき、ごみ減量を目指して具体的な事業展開を進めていきたいと思っておりますので、今後とも委員の皆さま方には、ご理解とご協力をお願い申し上げます。
- ・半年という長い期間、審議いただきありがとうございました。

(清水部長)

- ・以上をもちまして、廃棄物減量等推進審議会の答申を終了させていただきます。

(3) 懇談

(清水部長)

- ・では、それぞれからご意見をいただきながら、懇談をさせていただきます。
- ・昨年の6月から審議会を開催し、5回の審議を重ね、答申を作っていただきましたが、それまでの感想等を含め、一言ずつお願いします。

(足立市長)

- ・審議会の中でのご意見等を含め、お話しをお伺いすることができれば、今後のごみ減量を進めるに当たっての参考となると思いますので、よろしくお願いします。

(丸山会長)

- ・審議会では色々な意見を出していただきましたが、衛生委員さんに頑張ってもらうなど、リーダー組織の育成や、分別には「ずく」を出して気を付けてもらう、また若い人たちへのごみ減量の啓発も進めてほしいという意見がありました。

(高橋職務代理)

- ・一人ひとりがその気にならなければ、ごみは減らないと思いますので、出前講座などの活用が大事だと感じています。
- ・また、生ごみはこれからも増える一方かと感じており、コンポストや段ボールを使った堆肥化もありますが、何か他にも考えられるのではないかと思います。
- ・昨年12月に、東御市で生ごみ処理施設が稼働したと聞いています。まだ日数が経過していないので、どんな状況かは分かりませんが、今後、そのようなことも必要かと感じています。

(鈴木委員)

- ・審議会に参加し、衛生委員さんの苦労やエコパーク寒川の現場の様子を知ることができた

と思います。

- ・これから自分にできることは、くらしの会で先輩から教えてもらったことを、世話を焼きに出向いていくことだと思っています。

(小市委員)

- ・最初のうちは意識が薄かったですが、自身のごみの減量や分別に対する意識が変化したと思います。
- ・毎月の区長会協議会で前月のごみの状況などを出していただければ、もっと意識が高まると思いますし、それぞれの地区へ持ち帰ってもらうこともできるのでは、と思いました。

(佐藤委員)

- ・衛生委員の立場で参加させていただきました。私の村では2年任期で衛生委員をやっていますが、今期も受け手がなく、もう2年務めることになりました。
- ・衛生委員だけの勉強会があれば、もっと意識が高まるのではないかと感じました。

(渡辺委員)

- ・審議会の構成は女性の方が多く、話しをしやすい雰囲気だったと思います。
- ・身近なごみの問題は、女性が中心となり率先してやっていく立場にあるということと、飯山市は長い地域なので、岡山地区と飯山地区では全く違う点があることも聞くことができ、よい勉強をさせていただきました。

(南沢委員)

- ・エコパーク寒川に持ち込む事業系ごみが多いということで、それは経済活動の中では仕方がないことかもしれませんが、その中には資源物もありますので、事業所でも家庭と同じ取り組みができたらと思っています。

(丸山(靖)委員)

- ・これまで、自分なりに分別をしていたつもりですが、皆さんの話を聞いたり現状を知ることによって、大変勉強になりました。
- ・子どもがもえるごみの中へ紙などの資源物を入れていたので、なるべく分別できるよう、指導したいと思っています。

(宮澤委員)

- ・エコパーク寒川を管理している立場からですが、やはり基本は分別が第一です。
- ・紙類やプラスチック類をしっかりと分別していただければ、ごみは減ると思います。
- ・また、金属類が混ざると機械が傷むことに繋がりますので、分別は基本中の基本だと思います。
- ・ごみが減れば最終処分場も延命できますので、まずは分別が大事と現場では感じています。

(丸山(す)委員)

- ・審議会に参加し、地区の衛生委員さんや市の担当部署が苦勞していることを知りました。
- ・とにかくごみを減らすためには、分別が第一だと思います。市民一人ひとりの意識の高まりを期待したいと思います。
- ・教えていただいたことを広めて減量に繋げるよう、できる限りの減量支援に努めていきたいと思っています。

(藤田委員)

- ・名刺よりも大きく、広告より小さな紙が一番の問題だと思います。この紙の分別が工夫できればよいと思います。
- ・色々な場面で多くの人への働きかけが必要ですが、その一つとして、学校で親子を対象にした出前講座をしていただけたらと思います。

(足立市長)

- ・もえるごみの中の資源物を分別していくことが、一番大事なことと思います。
- ・小さな紙の簡単な出し方は、今までもやってきましたが、もう少しPRした方がよいと思います。
- ・家庭系ごみは、かなり努力していただいていると思いますが、事業系ごみは経済活性化の部分もあり、難しい問題があると思います。

(清水部長)

- ・事業系ごみについては、また検討が必要かと思います。
- ・委員の皆さまより、それぞれご意見をいただきましたが、これを踏まえて、今後のごみ減量に取り組んでいきたいと思います。本日はありがとうございました。